

水 道 課

平成 28 年 9 月 30 日現在における平成 28 年度水道事業の財務に関する事務の執行状況並びに経営状況について定期監査を実施したので、その結果について概要を述べる。

1 職員の配置状況

当課の職員は課長 1 人、管理係 4 人、工務係 4 人の計 9 人で、伊佐市職員定数条例の定数より 3 人減である。このほか管理係に嘱託職員 1 人を配置している。

2 財務に関する事務執行状況

(1) 収益的収入及び支出

当期の収益的収入は予算現額 4 億 394 万 8,000 円に対し、調定額 1 億 7,070 万 5,746 円、収入済額 1 億 3,405 万 746 円で、予算に対する収入済額の割合は 33.2%、調定額に対する収入済額の割合は 78.5%になっている。

収入済額の内訳は、給与収益 1 億 3,325 万 3,635 円、その他営業収益 62 万 5,000 円、営業外収益 17 万 2,111 円となっている。

なお、現年度未収金は営業収益 3,663 万 8,940 円である。

一方、収益的支出は予算現額 3 億 6,727 万 1,000 円に対し、支出済額 6,881 万 9,857 円で 18.7%の執行率である。

支出済額の内訳は、原水及び浄水費 1,481 万 1,091 円、配水及び給水費 1,411 万 9,310 円、総係費 2,356 万 1,000 円、支払利息及び企業債取扱諸費 1,620 万 2,226 円である。

(2) 資本的収入及び支出

当期の資本的収入は、予算現額 1 億 2,736 万 7,000 円に対し調定額、収入額ともに 0 円である。

一方、資本的支出は予算現額 2 億 7,224 万 9,000 円に対し、支出済額 8,510 万 9,542 円で、執行率は 31.3%である。

支出済額の内訳は、建設改良費 2,344 万 106 円、企業債償還金 6,166 万 9,436 円である。

なお、当期において資本的収入額が資本的支出額（支出済額）に対し不足する額 8,510 万 9,542 円は、減債積立金 2,500 万円と過年度分損益勘定留保資金 5,868 万 7,985 円及び当年度分消費税資本的収支調整額 142 万 1,557 円で補填されている。

(3) 損益計算書（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

（単位：円）

1 営業収益	160,158,340	
2 営業費用	<u>139,094,819</u>	
営業利益		21,063,521
3 営業外収益	38,309,001	
4 営業外費用	<u>16,202,226</u>	<u>22,106,775</u>
経常利益		43,170,296
5 特別損失	<u>32,486</u>	<u>△32,486</u>
当期純利益		43,137,810

前年度繰越利益剰余金 1,928,924

当期末処分利益剰余金 45,066,734

4月～9月の収入として、一般会計負担金（営業収益・その他営業収益）220万4,000円と一般会計負担金（営業外収益）643万6,500円、長期前受金戻入（営業外収益）1,720万5,500円、資本費繰入収益（営業外収益）1,447万9,500円を計上し、支出として、水質検査委託料（原浄費）261万円、電気設備保安管理・監視ネットワーク業務委託料（原浄費）185万円、9月分動力費（原浄費）185万9,652円、退手組合負担金（総係費）207万5,000円、会計制度改正指導・助言業務委託（総係費）24万円、減価償却費の6/12の7,838万6,500円を計上している。

(4) 貸借対照表（平成28年9月30日）

資 産 の 部		(単位：円)
1 有形固定資産	3,620,125,985	
2 無形固定資産	125,000	
3 投資その他の資産	<u>39,987,400</u>	
固定資産合計		3,660,238,385
1 現金預金	385,299,816	
2 未収金	62,118,392	
3 貯蔵品	2,382,447	
4 その他流動資産	<u>3,848,254</u>	
流動資産合計		<u>453,648,909</u>
資産合計		<u>4,113,887,294</u>
負 債 の 部		(単位：円)
1 企業債	1,270,363,827	
2 引当金	<u>34,716,275</u>	
固定負債合計		1,305,080,102
1 企業債	62,379,597	
2 未払金	8,634,652	
3 その他流動負債	<u>13,445,468</u>	
流動負債合計		84,459,717
1 長期前受金	1,350,172,822	
2 長期前受金収益化累計額	<u>△ 676,076,114</u>	
繰延収益		<u>674,096,708</u>
負債合計		2,063,636,527
資 本 の 部		(単位：円)
1 自己資本金	<u>1,847,555,273</u>	
資本金合計		1,847,555,273
1 資本剰余金	2,628,760	
2 利益剰余金	<u>200,066,734</u>	
剰余金合計		<u>202,695,494</u>

資 本 合 計	<u>2,050,250,767</u>
負 債 資 本 合 計	<u>4,113,887,294</u>

当期減価償却費は、当年度予定額の6/12の7,838万6,500円を資産種別ごとに計上し、各減価償却累計額に合算している。また、委託料契約額470万円と退手組合負担金の6/12の207万5,000円と9月分動力費185万9,652円を未払金に、一般会計負担金の6/12の2,312万円を未収金に計上している。長期前受金は、当年度予定額の6/12の1,720万5,500円を長期前受金収益化累計額に合算している。なお、利益剰余金のうち未処分利益剰余金は、平成28年度処分後（減債積立金へ6,000万円、資本金へ5,000万円）で作成されている。

(5) キャッシュ・フロー計算書は次頁に掲載。

(6) たな卸資産購入限度額の執行状況 (単位：円)

購入限度額	執行額	購入限度額 残高	前年度繰越額	受 入		払 出	9月末残高
5,658,000	819,273	4,838,727	2,347,292	購入	758,586	739,491	2,382,447
				戻入	16,060		

払出額73万9,491円は、修繕工事に係る原材料費や量水器取替による修繕費、原水及び浄水費の薬品費などである。

(5) キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

区 分	金 額	区 分	金 額
業務活動によるキャッシュフロー		投資活動によるキャッシュフロー	
当期純利益	89,833,462	建設改良費	△22,020,749
非資金項目の調整		建設改良費にかかる収入	0
減価償却費	0	固定資産の売却	0
固定資産除却費	398,650	投資有価証券の取得	0
賞与引当金	△4,454,000	投資有価証券の償還収入	0
退職給付引当金	0	有価証券の受取利息	160,000
減損損失	0	有価証券の増減額	0
貸倒引当金	0	投資活動によるキャッシュフロー	△21,860,749
減損処理長期前受金戻入額	0		
長期前受金戻入額	0	財務活動によるキャッシュフロー	
退職給付引当金戻入額	0	企業債の発行	0
過年度損益修正益	0	企業債の償還	△61,669,436
業務活動による資産及び負債の増減		支払利息	△16,202,226
未収金の増減	△2,511,442	財務活動によるキャッシュフロー	△77,871,662
貸倒引当金の増減額	0		
貯蔵品の増減額	△35,155	資金に係る換算差額	0
前払金の増減額	0	資金増加額	544,343
未払金の増減額	△8,514,032	資金期首残高	384,755,473
前受金の増減額	0	資金期末残高	385,299,816
その他負債の増減額	13,145,299		
その他資産の増減額	△3,628,254		
業務活動以外の損益項目			
受取利息及び配当金	△3,011		
支払利息等	16,202,226		
有価証券の受取利息	△160,000		
小 計	100,273,743		
受取利息及び配当金受取額	3,011		
支払利息等支払額	0		
業務活動によるキャッシュフロー	100,276,754		

3 工事の執行状況

当期中に発注された建設改良工事の執行状況は次のとおりである。

工 事 名	工 事 内 容	契約金額 (円)	契 約 の 相 手 方	契 約 方 法	工 期
国道 267 号 (バイパス) 配水管布設工事 (H28-1 工区)	HI-VP φ 150 L = 189.0m HI-VP φ 75 L = 63.0m DIP-GX φ 75 L = 12.0m 仕切弁 φ 150 3 基 仕切弁 φ 75 1 基 消火栓 φ 75 1 基	(当初) 11,340,000 (変更) △1,182,000 (合計) 10,158,000	(株)富士建設	指名競争入札	H28.4.18 ~H28.7.6
布計第 1 水源取水ポンプ取替工事	水中ポンプ φ 125×26kW	3,672,000	(株)アリマコーポレーション	指名競争入札	H28.5.30 ~H28.8.5
湯ノ谷 2 号線配水管新設工事	PP φ 50 L = 160.0m 仕切弁 φ 50 4 基	1,620,000	成政建設工業(有)	指名競争入札	H28.8.18 ~H28.10.31
国道 267 号 (バイパス) 配水管布設工事 (H28-2 工区)	HI-VP φ 150 L = 41.3m HI-VP φ 75 L = 27.7m DIP-GX φ 200 L = 3.90m DIP-GX φ 150 L = 34.1m 仕切弁 φ 200 1 基 仕切弁 φ 150 2 基 消火栓 φ 75 2 基	6,480,000	(有)大口中央設備	指名競争入札	H28.9.5 ~H29.2.1

このほか、手数料 96 件 (設計審査手数料 95 件、新規指定店登録手数料 1 件)。工事請負契約書等については、関係法令に従って処理されており適切であることを認めた。

4 委託の執行状況

本年度において執行した委託業務は、次のとおりである。

補助 単独 の別	委 託 事 業 名	契約金額 (円)	契 約 の 相 手 方	契 約 方 法	契 約 の 期 間
単独	大口地区修繕センター業務	2,160,000	大口水道修繕センター	随意契約	H28.4.1 ~H29.3.31
単独	菱刈地区修繕センター業務	939,600	菱刈水道修繕センター	随意契約	H28.4.1 ~H29.3.31

単独	水道施設監視ネットワーク・電気設備保守保安管理業務	3,996,000	㈱明興テクノス	随意契約	H28.4.1 ～H29.3.31
単独	水道料金・会計システム及び配管マップシステム保守管理業務	388,800	愛知時計電機㈱鹿児島営業所	随意契約	H28.4.1 ～H29.3.31
単独	量水器検針事務	64/件	個人5人とシルバー人材センター	随意契約	H28.4.1 ～H29.3.31
単独	飲料水毎日検査業務	6,600/日	濱本 悟	随意契約	H28.4.1 ～H29.3.31
単独	飲料水質検査業務	5,637,600	㈱鹿児島環境測定分析センター	指名競争入札	H28.4.8 ～H29.3.31
単独	山野水源 新山野配水池系 飲料水水質検査	91,260	㈱鹿児島環境測定分析センター	随意契約	H28.6.15 ～H28.8.19
単独	地方公営企業会計に係る指導・助言業務	518,400	有限責任監査法人 トーマツ	随意契約	H28.4.28 ～H29.3.31
単独	水道料金システム改修	151,200	愛知時計電機㈱鹿児島営業所	随意契約	H28.7.1 ～H28.7.29
単独	大口配水池・崎山配水池・曾木配水池清掃業務	1,836,000	ノダック㈱九州事業所	随意契約	H28.5.30 ～H28.9.6
単独	生活基盤施設耐震化等交付金事業 中央本城連絡管 測量設計業務	4,698,000	㈱水協設計事務所	指名競争入札	H28.5.2 ～H28.6.20
単独	水道施設除草・点検作業業務（大口地区）	393,120	大口管工事組合	随意契約	H28.5.23 ～H29.3.31
単独	水道施設除草・点検清掃業務（菱刈地区）	393,120	伊佐市菱刈水道設備会	随意契約	H28.5.23 ～H29.3.31
単独	量水器取替・撤去業務	規格ごとの取替単価・撤去単価による	大口管工事組合・伊佐市菱刈水道設備会	随意契約	H28.9.23 ～H29.3.31

5 業務の執行状況

(1) 給水の状況

(消費税込み)

月	給水戸数 (戸)	給水量 (m ³)	給水収益調定額 (円)
4	10,123	163,332	27,720,464
5	10,064	158,944	26,885,058
6	10,098	164,649	27,910,649
7	10,072	166,464	28,185,304
8	10,077	172,115	29,148,092
9	10,075	177,700	30,043,008
計		1,003,204	169,892,575

(2) 用途別給水戸数 (平成 28 年 9 月分)

用途	家庭用	営業用	官公署用	工場用	農業用	工事用	計
戸数 (戸)	9,272	559	150	26	42	26	10,075

(3) 口径別給水戸数 (平成 28 年 9 月分)

口径 (mm)	13	20	25	30	40	50	75
戸数 (戸)	9,382	440	99	43	78	20	13
口径 (mm)	100	計					
戸数 (戸)	0	10,075					

(4) 使用水量段階別給水戸数 (平成 28 年 9 月分)

使用水量 (m ³)	0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~30	31~40
戸数 (戸)	1,090	1,737	1,571	1,443	1,304	1,812	648
使用水量 (m ³)	41~50	51~100	101~500	501~1000	1001 以上	計	
戸数 (戸)	202	180	75	7	6	10,075	

(5) 平成 28 年度上半期における水道料金の過年度分未収金は 1,050 件、268 万 4,768 円である。内訳は平成 23 年度分 31 件、4 万 3,743 円、平成 24 年度分 48 件、4 万 425 円、平成 25 年度分 115 件、18 万 6,252 円、平成 26 年度分 248 件、86 万 2,852 円、平成 27 年度分 608 件、155 万 1,496 円となっている。

未収金の徴収については、催告書による納入催促など努力されているが、昨年度に比べ未収件数、未収金額ともに増加しており、負担の公平を期するため、未収金の解消に向けてより一層努力されることを望む。

6 現地監査

国道 267 号（バイパス）配水管布設工事（H28-1 工区）における施工状況等について現地監査を実施した結果、良好に施工されていることを認めた。また、中央地区簡易水道水源地及び第 1、第 2 配水池、前田地区簡易水道水源地及び配水池、中央地区簡易水道本城水源地及び配水池、中央地区簡易水道湯之尾水源地及び配水池の管理状況についても概ね良好に管理されていることを認めた。

7 その他

当課が整備保管すべき財務に関する諸帳簿類は、概ね良好に整備保管されていることを認めた。